

CONTENTS

- 2 今復活の夜明けが来ています……………イ・ヨンファン牧師
- 4 今日のマナ …………… チョウ・ヨンギ牧師
 - ・偉大な復活
- 6 メッセージ …………… 志垣重政牧師
 - ・復活の証人たち
- 9 大きな絵でこの世を理解する……………キム・ジョン Chol 監督
 - ・イランの核開発と第三次世界大戦の影
- 17 霊的リーダーシップ……………イ・ヨンファン牧師
 - ・委任と協働(共に働く)のリーダーシップ
- 20 私の人生、私の証……………ユン・チヨン 牧師
 - ・聖霊様が共におられる中国での働き
- 28 レビ記ライフ……………カン・デウィ 牧師
 - ・「私たちはなぜ礼拝しなければならないのか」—— 燔祭
- 33 狭き門、狭き道……………カン・サン 牧師
 - ・神様と本当に会える時期
- 37 統一時代を開く……………ベン・トレイ 理事長
 - ・偽預言者
- 43 ドタバタ子育ての話……………イ・ビョンジュン 牧師
 - ・子どもたちを「無気力」から救い出せ

今復活の夜明けが来ています

イ・ヨンフン牧師

イエス様が十字架にかけられた日、イエス様の弟子たちは、ローマ兵士に連れられ処刑される師、イエス様の姿を見て大きな恐怖に襲われました。

「その日、すなわち週の初めの日の夕方のことであった。弟子たちがいた所では、ユダヤ人を恐れて戸がしめてあったが」（ヨハネ 20:19 前半）

弟子たちは、今まで見て聞いていたイエス様の教えに心を閉ざしました。そして部屋の中に入り、鍵をかけて扉を閉めました。すべての扉を閉め、不安と恐怖に包まれていた弟子たちに、復活したイエス様がやって来ました。恐怖と絶望の中にいた弟子たちに平安を与えたのです。

「イエスが来られ、彼らの中に立って言われた。「平安があなたがたにあるように。」」（ヨハネ 20:19 後半）



耐えられない試練に遭う時、人々はイエス様の弟子たちのように絶望の部屋に入り、鍵をかけて、扉を閉め、外部との交流を閉じます。しかし、そのような方法では何も解決できません。恐ろしさと絶望で固く閉ざされた部屋には、一筋の希望の光も届きません。しかし、死ぬほどの絶望によりすべてを拒絶しているとしても、愛のイエス様は私たちに誇りに思い、絶望の場所に訪ねてきてくださり、復活の生命と希望を伝えてくださいます。

今、苦難に疲れ、人に疲れ、自分に失望して、絶望の部屋の中で落ち込んでいませんか？ 恐怖と絶望に囚われて何もできないとしても、神様を待つことだけは諦めないでください。今は苦難の夜が永遠に続くように思えても、我慢して待っていれば、必ず復活の夜明けが来るでしょう。†

＊今日のマナ



イエス様の復活は、イエス様が本当に神様の御子であることと、また私たちの救い主であることを確証します。もしイエス・キリストが復活していなかったなら、彼はごく普通の宗教指導者に過ぎなかったでしょう。彼の病気の癒しも魔術のように受け止められ、十字架の事件もやはり悲惨な死に過ぎなかったでしょう。

しかし、イエス様が復活されたので、彼の教えは、神様の御言葉となって、彼の病気の癒しは神様の慈愛の手となって、彼の死は人類を救う贖いのいけにえになることができましたのです。ですから、イエス・キリストの復活は、彼こそ、私たちの道であり、真理であり、命であり、彼によらなくては、誰も父のもとに行くことができないという事実を確証しています。

イエス・キリストの復活は、私たちの罪を贖った保証となります。歴史的に見ると、釈迦や孔子やマホメットは死の刑務所から解放できませんでした。これは、彼らが人類の中の一人の罪の代価も払うことができなかったことを意味します。しかし、死の刑務所に入ってくださったイエス様は、墓の入り口を再び開き、三



チョウ・ヨンギ
ヨイド純福音教会元老牧師



偉大な復活

日目に復活されました。このことはすなわち、イエス様が人類のすべての罪の代価を払われたことを証明する偉大な事実なのです。ローマ人への手紙4章25節には、次のように記されています。

「主は、わたしたちの罪過のために死に渡され、わたしたちが義とされるために、よみがえらされたのである。」

このように、イエス様の復活は、私たちの罪の贖いの保証になるだけでなく、私たちの復活に対する確証となります。

私たちは、イエス・キリストの復活は、私たちのすべての罪、過去と現在と未来の罪まで消してくださったことを、はっきりと心の中で信じなければなりません。そして、キリストの栄光の中で、私たちが復活して、新しい天と新しい地に進むことができるという事実もしっかり信じなければなりません。キリストの復活は、過去の復活ではありません。今、私たちの生活の中に存在して、私たちを変化させ、また、将来私たちの霊と肉を変化させて、神様の御国に私たちを案内してくださる偉大な保証となるものです。†



復活の証人たち

—— ヨハネによる福音書 20 章 1 ～ 10 節 ——

さて、一週の初めの日に、朝早くまだ暗いうちに、マグダラのマリヤが墓に行くと、墓から石がとりのけてあるのを見た。そこで走って、シモン・ペテロとイエスが愛しておられた、もうひとりの弟子のところへ行って、彼らに言った、「だれかが、主を墓から取り去りました。どこへ置いたのか、わかりません」。そこでペテロともうひとりの弟子は出かけて、墓へむかって行った。ふたりは一緒に走り出したが、そのもうひとりの弟子の方が、ペテロよりも早く走って先に墓に着き、そして身をかがめてみると、亜麻布がそこに置いてあるのを見たが、中へはいらなかった。シモン・ペテロも続いてきて、墓の中にはいった。彼は亜麻布がそこに置いてあるのを見たが、イエスの頭に巻いてあった布は亜麻布のそばにはなくて、はなれた別の場所にくるめてあった。すると、先に墓に着いたもうひとりの弟子もはいてきて、これを見て信じた。しかし、彼らは死人のうちからイエスがよみがえるべきことをしるした聖句を、まだ悟っていなかった。それから、ふたりの弟子たちは自分の家に帰って行った。

人々はイエス・キリストの偉大な死を信じるのに、復活を信じることができません。復活を信じることができなければ、救いの根拠が崩れてしまいます。「この福音は、神が、預言者たちによ

り、聖書の中で、あらかじめ約束されたものであって、御子に関するものである。御子は、肉によればダビデの子孫から生れ、聖なる霊によれば、死人からの復活により、御力をもって神の御子と定められた。これがわたしたちの主イエス・キリストである」(ローマ 1:2 ～ 4)。主は、復活することにより、神の御子であることを立証してくださいました。パウロは「わたしが最も大事なこととしてあなたがたに伝えたのは、わたし自身も受けたことであった。すなわちキリストが、聖書に書いてあるとおり、わたしたちの罪のために死んだこと、そして葬られたこと、聖書に書いてあるとおり、三日目によみがえったこと」(第一コリント 15:3 ～ 4) が福音であると語っています。救いに対する結論、「すなわち、自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神が死人の中からイエスをよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われる」(ローマ 10:9) ことも訓えてくれました。なぜ、復活を信じなければならないのでしょうか。答えはローマ人への手紙 4 章 25 節にあります。「主は、わたしたちの罪過のために死に渡され、わたしたちが義とされるために、よみがえらされたのである。」——これこそが福音です。では、福音の証人、復活の証人であるマグダラのマリヤ、ペテロ、ヨハネがどうやって復活信仰に至ったのでしょうか。

第一は、理性的接近の道です。マリヤから遺体がなくなっていることを告げ知らされたペテロとヨハネは急いで墓に駆け付けます。ヨハネが先に着いたのですが、墓の中には入らず、身を屈めて墓の中を見たとあります。この「見た」はブレロ（ギ）で、表層的に見ることを表します。後から来たペテロが墓の中に入ります。この時の「見た」はテオレオで注意深く見ることです。ようやくヨハネも墓の中に入りますが、今度はエイデン（ギリシャ語）、納得して見ることです。二人は総合的に判断（亜麻布が抜け殻のように残っていたことと遺体がないこと）し、事件は盗難事件ではなく、復活事件であったことを悟ります。この事件を誰が研究しても、否定しようとしても、理性的接近により復活を肯定するようになることを知しましょう。

第二は、体験的接近の道です。ペテロとヨハネが帰った後、マクダラのマリヤは一人で墓に残ります。そこで復活したイエスに会ったのです（ヨハネ 20:11～18 参照）。実際に会うことにより復活信仰に至りました。2000 年後の今日でもイエスに会うことができます。イエスが人でなければ、十字架上で死ぬことはできません。同時に、イエスが神の御子でなければ、復活することはできません。復活しなかったとしたら、死人が約束を履行できないように、私たちとの約束を守ることができません。復活してくださったからこそ、私たちは毎日のように奇跡を体験しているのです。復活のイエスが弟子と私たちに贈物をなさいます。それは、十字架の勝利によって得た平安を与えることであり、平安を基に私たちを遣わしてくださり、聖霊充滿を与えてくださるプレゼントです。†

イランの核開発と 第三次世界大戦の影

キム・ジョンチョル | www.bradtv.net



キム・ジョンチョル監督は映画「回復」「許し」「第三聖戦」「ルターの二つの顔」等を作ったキリスト教ドキュメンタリー映画の監督で、イスラエル中東の専門家です。特に『回復』はモナコ国際映画祭でドキュメンタリー部門のグランプリを受賞し、『ルターの二つの顔』はLA マインドフィールド映画祭でドキュメンタリー部門のプラチナム賞を受賞しました。現在はイスラエル宣教の専門放送「ブラッドTV」を7年間運営しています。

北朝鮮の核兵器とイランの核兵器の違い

もしイランが核兵器開発に成功すれば、国際社会に及ぼす影響と事態の深刻さは、実に甚大です。北朝鮮の核兵器の場合とは全く次元が違う問題です。北朝鮮の脅威は韓国、日本、中国、米国4国だけが問題視し、他の国は「対岸の火事」のように見ていることが国際社会の現実なのです。

しかし、イランが核兵器を保有すれば、戦争それも中東での局地戦ではなく、第三次世界大戦に飛び火する可能性が大きいと考えられます。北朝鮮は三代世襲政権の存続と韓国制圧が目的であるため、そう簡単には核兵器を使用することはないと予想されますが、イランは全く別の目的を持っているからです。

イランが核兵器を開発するにはまだ時間が残っており、戦争は遠い未来のことだと考えがちです。しかし、戦争の影はすでに私たちの前に潜んでいます。いいえ、戦争は明日にでも起こりうる



ことなのです。

もし今、直ちにイスラエルが決断を下し、イランの核施設への爆撃作戦を奇襲で仕掛けるならばどうなるでしょうか。イランのコントロール下にあるレバノンのヒズボラとシリア民兵隊、そしてイランの同盟国であるロシア、イランと友好的なトルコが連合し、報復戦闘が即時開始され、その次の日には予測できない方向に急速に展開されるでしょう。

強 対 強：イランとイスラエル

イスラムには、比較的穏健なスンニ派と強硬なシーア派がいるというのは常識です。その中でも、イランは強硬なシーア派の宗主国であり、最高の宗教指導者1人の決定がまるで神の意志であるかのように執行される特殊な統治構造を持っています。彼らの宗教的信念は、自爆テロに象徴されるように、私たちの常識を超えて盲目的で暴力的です。

イランは、自分たちの終末論の教理に基づいて、地球上のイス



ラエルとユダヤ人をすべて壊滅させてこそ、彼らの待っているメシアが来ると信じています。イランは、その目的を達成するために必ず核兵器を手にしなければならず、そのために国際社会の経済制裁を甘受してまで核兵器を作るための努力を続けてきているのです。さらに、2020年1月カセム・ソレイマニ革命防衛隊司令官が米国の攻撃により死亡した事件以来、イランはさらに強硬になった状態です。

イスラエルは自由選挙により政権が交代する多党制、自由民主主義国家であり、群小政党の力が大きく、一党単独政府よりは連立政府が通常な国です。各政派の意見はまちまちですが、国家安全保障に対しては、その多くが強硬な立場にあり、第二次世界大戦時に虐殺された経験から、防御より先制攻撃を主張する世論がより大きいのが特徴です。

イランとイスラエルは、いわゆる「不倶戴天の敵」です。イランは、レバノンのテロ組織ヒズボラ、ガザ地区のハマス、シリアのアル・アサド政権などを軍事的・経済的に支援し、彼らにイス

ラエルに対しテロを起こすように誘導しています。したがって、強対強の二国間に戦争が起こるのは時間の問題だと言えます。今も水面下で延々と拳が飛び交っています。直近六ヶ月の間に起こった主な出来事です。

2020 年 11 月 テヘランにてイラン核科学者モフセン・ファクリザデ博士 暗殺事件

2021 年 1 月 インド駐在イスラエル大使館前 爆弾テロ事件

2021 年 2 月 イスラエル、シリア内の親イラン軍事施設空爆

イスラエルの情報機関モサドの秘密作戦

2015 年、米国のオバマ大統領は、イランとの核合意（包括的共同計画）を結びました。イランは核開発を放棄し、国際社会は経済制裁を解除するという内容の合意でした。国連安保理常任理事国（米国、英国、フランス、ロシア、中国）とドイツが共におこなった合意でしたが、事実上、米国とイランが重要当事者でした。後に明らかになったところによると、イスラム教に対しては非常に好意的であったオバマ大統領がイランに大きく譲歩し、プレゼントまで贈った合意だったとされます。

この合意にもかかわらず、イランが水面下で核兵器開発を続けているという事実が劇的に世間に知られることになります。イスラエルの情報機関モサドの映画のような秘密作戦が決定的なものとなりました。モサドが 2017 年 1 月にイランの首都テヘランにある秘密倉庫に潜入し、500 キログラムもの核兵器開発関連の機密資料（数万枚の秘密文書と 200 枚に及ぶ CD）を抜き取ってきたのです。この資料を、イスラエルのネタニヤフ首相が直接放送を通じて全世界に暴露したことで、イランは窮地に追い込まれます。

2018 年トランプ大統領はこの明白な証拠に基づいて、「オバマ

の核合意は史上最悪の交渉だった」と非難し、核合意脱退を一方的に通告し、イランに対する経済制裁措置を復活させました。こうしてイランの核開発は、ある程度ブレーキがかかるようになり、イスラエルの立場としては、一息つける幸いな結果になりました。

着々と近づくイランの核武装とイスラエルの先制攻撃警告

2021 年 1 月にバイデン大統領が就任し、状況が急変しています。バイデン大統領は、過去オバマ政権時に結んだイランとの核合意に再度原状復帰するという計画を打ち出しています。その合意は抜け穴だらけであり、万が一それより良い核合意を導き出したとしても、イランがそれを履行する意思が全くないことが確認されたにもかかわらず、イランとの再交渉のテーブルにつこうというのです。

さらに今年 1 月 4 日、イランは低濃縮ウランの濃度を 20%まで引き上げることに成功したと誇らしげに発表しました。核合意によると、低濃縮ウランの抽出を 3.67%まで許容する条件でしたが、イランは国際社会には黙って核開発を続けてきたのです。専門家によると、20%まで抽出することは困難なのですが、一度 20%まで成功すれば核兵器としての機能に耐えられる 90%まで到達するのは、それこそ時間の問題だと言います。

実際に「タイム・オブ・イスラエル」は、イラン政権の決定があった場合、今後 1 年以内に完全な機能を備えた軍事用核基地を建設することができると予想される、と報じました。現在、イスラエルの立場は非常に緊迫しています。今年 1 月 13 日、イスラエルのリクード党のジャヒ・ハネクビという国会議員が「イスラエルはイラン軍のシリア駐留や核兵器開発を絶対に容認しない。米国のバイデン政権がイランとの核交渉のテーブルに再びつく場合、



イランの秘密倉庫から回収した核開発資料についてブリーフィングするイスラエルのネタニヤフ首相

イスラエルはイランの核プログラムを攻撃することができる」と警告しました。

イスラエル国防長官ベニー・ガンツも「今、イスラエルが軍事的選択権を持つ必要があるということは明らかである」とメディアとのインタビューで明らかにしました。イスラエルはいつでも爆撃機を送って、イランの核施設を破壊する準備がすべて整っているという意味です。しばらく穏やかだったイスラエルとイランの間の軍事的緊張が再び高まっています。

イスラエルの先制攻撃は可能か

そうすると、本当にイスラエルがイランの核施設に向けて先制攻撃をすることはできるのでしょうか？

答えは非常に簡単です。当然、先制攻撃することができます。1981年イラクが核兵器能力を獲得しようとする疑いがかかった時、イスラエルはすぐにF15とF16機を使い、イラクのオシラク原子炉を破壊する先制攻撃をしたことがありました。2007年に

も、シリアのデリゾール付近の砂漠に秘密プラトニウム原子炉を建設することを知り、即時シリアに飛んで破壊しました。

イスラエルがイランを攻撃するためには、ヨルダンとイラク両国の上空または、サウジアラビアの上空を通らなければなりません。幸いなことに、サウジアラビアは、すでに2010年にイスラエルがイランの核施設を攻撃するためなら、自国の領空を通過する場合、ミサイル防衛システムが動作しないようにして通過できるように許容すると約束しています。とはいえ、イランはイスラエルから約1,500km以上離れている地理的困難があります。

このことに対する準備も、イスラエルは古くからしてきました。2012年、米国の外交専門誌フォーリン・ポリシーは、イスラエルがイランのすぐ隣にあるアゼルバイジャンの首都バクー北部のシタルチャイ空軍基地飛行場を確保し、これは有事の時にイランに向け戦闘機が出撃するためのものと見られると報じました。この飛行場からイランの主要核施設までは約760kmであるため、イスラエルから直接出撃する時に比べ距離が半分程度に縮まります。イスラエルは、このように具体的で多様な対策を用意しており、作戦実行を目前にしています。

聖書が預言する第三次世界大戦の影

結論として、イスラエルとイランの戦争は起こるよりほかないのでしょうか？

エゼキエル38章でも、イスラエルの回復の後ペルシャとクシュとプテとゴメルと... ベテ・トガルマ部族がイスラエルに攻撃してくるとありますが、ここで言うペルシャとは今日のイランです。結局のところ、イランとイスラエルは衝突するようになっているのです。

この戦争は、一見政治的な理由のため、そして国家と民族の生



✧ 霊的リーダーシップ

イ・ヨンフン 牧師/ヨイド純福音教会



委任と協働(共に働く)のリーダーシップ

ウォーターゲート事件で刑務所に入り出所した後、驚くべき福音伝道者に変化したチャールズ・コルソンが「クリスチャンリーダーの真の特徴は、他の人を立てることにある。他のリーダーを育てなさい!」と述べました。

世の歴史を変えるのは5%未満の創造的な少数の人です。だからリーダーを立てることは非常に重要です。

2010年8月5日、チリのサンホセ鉱山で銅を採掘していた33人の鉱山労働者が、地中に閉じ込められた事件がありました。生きて地上に出られる保証がない切迫した状況の中、33人の鉱山労働者は約70日間を地中で耐えぬき、結局全員が無事に救助されました。

現場を取材したメディアは、この奇跡を可能にしたのはリーダーシップだと結論づけました。危険な環境で作業をする鉱山労働者には、厳格なヒエラルキーがありました。しかし作業班長だったルイス・ウルスアは自分の権威を捨て、すべてを投票で決めることにし、地位と年齢に関係なく各人の能力を発揮してお互いに助け合うようにしました。先輩は経験と知恵で、医療教育を受けた人は医療知識で、ユーモアがある人は笑いで、信仰がある人は祈りでお互いに助け合うようにしたのです。

この助け合いの結果、彼らは極限状況を克服し、全員が生還できました。このように真のリーダーは別のリーダーを立てます。そして一人では成し遂げられない偉大な事を、他の人と共に成し

存に関する問題のために起こる局地的な戦争のように見えますが、実際には神様と神様に敵対するイスラムとの全世界的な戦争であり、霊的な戦争です。また、地球上でイスラエルを消滅させるというイスラムの宗教的信念のために起こる戦争なのです。

イスラエルの先制攻撃が成功し、イランの核施設だけが完全に破壊されて終了するのであれば幸いです。問題はより大規模な戦争へと拡大されることが懸念されるという点です。当然、レバノン、シリア、そしてトルコとロシアまでがイランに味方し、戦争に加担するのではないのでしょうか?

第三次世界大戦の影が目の前にちらつきます。私たちは終わりの時、主が再び来られる直前の兆候の一つを、現在展開されるイスラエルとイラン間の緊迫した状況を通して目撃しています。私たちはこれらの出来事を分別し、神様の御旨と聖霊様の導きを求めなければなりません。†

遂げるのです。

イエス様のリーダーシップ

イエス様はこの地上におられた時、一人ですべての事を担っていた訳ではありません。イエス様は公生涯の初期から、共に働く弟子たちを召され、働きを委任しました。イエス様は祈りながら、弟子の中から十二人を選んで使徒と呼び、権威を与えた後、二人ずつ組にして伝道旅行を送られました（マルコ 6：7）。神の国の働きは1人で担うのではなく、他の人と共に担うものであることを、最初から弟子たちに見せてくださったのです。

後に初代教会も、イエス様が見せてくださった共に働きを果たしていくリーダーシップに従いました。アンテオケ教会は聖霊の導きに従ってバルナバとパウロと一緒に派遣し、宣教の働きをさせました（使徒 13：1～3）。

その後マルコの問題により、バルナバとパウロの間に亀裂が生じ、別々に働くことになった時にも、共に働く原理は守られ、バルナバはマルコと一緒に、パウロはシラスと一緒に宣教の働きを継続しました。

神の国のために働くクリスチャンリーダーの使命は、共に働きを果たしていくリーダーシップを通して成されます。イエス様はそばにいる弟子たちに自分自身の霊的な資源を分け与えました。12弟子はもちろん、他の多くの弟子たちにも力を与えられ、神の国を伝えさせました。

「その後、主は別に七十二人を選び、行こうとしておられたすべての町や村へ、二人ずつ先におつかわしになった… その町にいる病人をいやしてやり、『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい。」（ルカ 10：1～9）。

イエス様が力と権威を他の弟子たちに分け与えると、神の国は

さらに大きく拡大しました。このように自分だけがリーダーとして立つのではなく、他のリーダーと一緒に立てて、神様が委ねられた使命をより効果的に達成するように導くのが委任のリーダーシップです。

イエス様は最後の晩餐で弟子たちに御言葉を伝えられた時「よくよくあなたがたに言うておく。わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。」（ヨハネ 14：12）と言われました。

新型コロナ時代の新たなリーダーシップ

イエス様の示された委任のリーダーシップを早くから経験した弟子たちは、イエス様の御言葉通りペンテコステ聖霊降臨以後、さらに大きな驚くべき事を担いました。多くの不思議としるしが現れ、弟子の数は日々増えて（使徒 2：43～47）、祭司たちも多数、信仰を受け入れるようになりました（使徒 6：7）。

韓国における 1960～80 年代のキリスト教リバイバルは、神様が立てられた何人かの優れた指導者のカリスマ的リーダーシップにより主導されました。21 世紀を迎えた今、新型コロナ時代が長期化し、韓国教会は新たなリーダーシップを求めています。今は誰か一人によって、すべての事が左右される時代ではありません。

指導者たちがネットワークを結んで1つになり、働きを果たしていく協力の場を開かなければなりません。そのため教会に仕える指導者は、自分が持っている権限と機会を同労者たちに適切に委任し、共に働きを果たしていくリーダーシップが必要です。お互いを立てるこのリーダーシップを通して、教会は継続的にリバイバルしながら成長し、神の国はさらに拡張されるでしょう！

✳ 私的人生、私の証

ユン・チヨン 牧師/シドニアノインティング (anointing) 教会、キングダムアライアンス (Kingdom Alliance) の働き



私は刑務所から出所した後、これから何をすればいいか祈りながら神様の前に向かいました。祈るたびに、神様から「中国」という国が思い浮かべさせられ、彼らの魂への哀れみで涙が絶えませんでした。それで、とりあえず上海へ行くことを決断しました。中国行きの飛行機チケット代がないことを除き、準備ができていました。周りから「中国にはいつ行くのか？」と聞かれたら、日にちを述べず、ただ「私は行きます！」と答えました。

「行きます」と答えてから三日後、知り合いの勧士から電話がかかってきました。中国に行くチケット代を送るという電話でした。私は感謝する気持ちで素直に受けました。しかし、そのチケット代はオーストラリアから韓国へ行く飛行機のチケット代だけで、韓国から中国へ行くチケット代が足りなかったのも、また祈

り続けました。すると、別の勧士から電話がかかってきました。

空から落ちたお金

勧士から、「牧師先生、飛行機のチケット代はいくら必要ですか？」と聞かれ、私は不足している金額を伝えました。そうすると、彼女が電話を切ってしまいました。電話が切られどういふことか当惑している中、また電話がかかってきました。

「昼に近所を歩いている時、突然空からお金が落ちてきました。その金額は50ドルが8枚で正確には400ドルでした。ところで、さっき牧師先生に金額を聞くと、正確に400ドルが必要だと言っていたので、驚いて電話を切ってしまいました。」

お金が落ちたところは、低い建物しかない住宅街で、お金を失くした人がいるのか調べても分からず、彼女は祈ったそうです。祈りの中、空から落ちてきたお金だから、もしかしたら飛行機のチケット代なのではないかとふっと思い浮かび、私のことを思い出して電話をしたそうです。

私はこの話を聞きながら、荒野でイスラエルの民にマナとうずらの食糧を与えられた神様の働きが思い浮かびました。主が私に「なぜあなたは聖書の中の出来事は信じながらも、空からお金が落ちることは信じないのか？」と質問をされるような気がしました。

実は、私はその時ちょっと落ち込んでいました。私は刑務所にいる間、最も多くの面会を受けた人でした。出所する一ヶ月前、知り合いの牧師が面会に来たことがあります。その牧師から「君は出所した後、何をするつもりなの？」と聞かれ、私は「牧会をする予定です」と答えました。すると「刑務所に行ってきた人がどうやって牧会ができるの」と言われました。その日、牧会に対する私のすべての夢が壊され、喜びが消え去った絶望を覚えまし

た。

非常に苦しんでいる私の姿を見た刑務所の同期達は「私たちは、ここに来て当たり前だ。しかし、ユンは私たちと違う。神様はあなたを私たちに送ってくださった」と私を慰めてくれました。この慰めの言葉によって、最後まで最善を尽くす力が得られ、出所後は神様の働きをしますと告白しました。そして、出所後落ち込んでいた私は、この勸士さんの飛行機チケット代の件を通して、また神様から慰められました。

三ヶ月間、聖徒が一人も訪れてこない教会

中国に到着した日、さっそく私たち家族はすぐオーストラリアへ戻りたいと思いました。道路は自転車の行列で危険で、子供たちは初めてカルチャーショックを経験し、大変でしたが、宣教のために私を信じてついてきた17名を考え、神様の働きを辞めることはできないと心を引き締めました。

私についてきた17名は、私がお金もなく中国宣教だけ叫びながら来たことに少なからず当惑していました。しかし、私たちの神はどのような方ですか。荒野でイスラエルの民にマナとうずらを与えられた方じゃないですか。経済的に余裕がない状況でしたが、すぐに上海でホテル賃貸経営をしているホン執事という大事な方と出会いました。ホン執事は私が神様の御言葉だけを信じ無計画で中国に来て、どうすればいいか方法が分からない時、宣教のベースを作ってくださいました。

とりあえず、中国内での韓国人牧会を前提とし、小さな建物の4階にある小さなオフィスを借りて、「空の木」という憩いの場を作りました。しかし、三ヶ月が経っても、たった一人も訪れて来ませんでした。そのため、「神様、羊じゃなくていいから、狼でも送ってください。私たちがその毛を剃って整形までさせなが



中国では場所を選ばず数多くの集会を開いた

ら、羊になるように頑張ります。」との祈りまでしました。そのくらい、切実でした。

この祈りをしてから3ヶ月程経ったある日でした。ホン執事はホテルを経営しながら、上海から50km離れたチンプというところで工場を経営していますが、職員達に聖書の勉強をさせながら、その時間も働く時間とし給料に含めていました。もちろん職人は興味がなく、疲れて居眠りをしていました。私はその姿を見ながら、神様の愛が流れていることを感じました。ふと、この職員達にご飯を作ってあげたいという心が入ってきて、主日に40人分の食事を用意しました。

このように中国現地人に肉の糧食を与える一方、中国公安の監視を意識して思う存分霊の糧食を与えることができないことに、とても心が痛かったです。ところが、突然12月という文字が見えて、この考えが頭をかすめました。「あ！12月にはクリスマスがある。パーティーを開き、その日がイエスの誕生日であり、イエスが全人類の罪人のため来られたことを彼らに教えよう。そうすると、自然に福音を伝えることができるのではないか？」。



全身がゆがんだ状態で生まれた家庭教会聖徒の息子が8時間の祈りを受け、ほぼ正常な姿に回復した。

40 人から 400 人へ

クリスマスパーティーを開く話が広がり、近所の家庭教会の人々もたくさん参加され、最初考えた人数 40 人を超えたなんと 400 人が訪れました。その人数を満腹にさせることは財政的にも体力的にも簡単ではありません。幸いなことに、シドニーで事業をやっている社長が 1 千ドルを献金してくださいました。400 人分の食事とささやかなプレゼントまで用意できる、主から備えられた貴重な献金でした。

いよいよクリスマスパーティーの日となり、一度も見たことない方があちらこちらから集まり始めました。ところで、いざ説教をしてくださる方が来なくて、しょうがなく私が簡単に挨拶だけすることにしました。2, 3 分ほど話すつもりが、講壇に上がる時、主から「贈り物」という文字が見せられ、私が突然説教者になってしまいました。

「贈り物」。そうです。私たちにとって、イエスは世界で最も貴重な贈り物です。私は嬉しくて知らないうちにイエスの自慢(?)を大胆に宣べ伝えました。中国公安が様子をうかがっていたので、心の中では「もうやめなきゃ、やめなくちゃ...」を何回も叫んでいましたが、いつの間にか 20 分近く福音を伝えてしまい

ました。私は講壇から降りてきて、もしかしたら問題になるかもしれないと思って、多くの人の中に隠れていました。

パーティーがほぼ終わる頃、ある家庭教会の指導者が隠れている私を呼んで「ユン牧師先生が、イエスを信じると決心した人々のために祈ってください」と祈りを求めてきました。戸惑いましたが、その場から逃げることもできなくて、応じました。そして、私の口から思わぬ「今日、神様の贈り物を受けたい方は、出てきてください」という言葉が出てきました。そうすると、なんと 40 人程の人が出てきたので、私は出てきた一人一人のために祈りました。

その中には両側を人に支えられながら出てきた中風持ちの方がいましたが、その方が出てきた瞬間、どんなに困っていたのか... 今まで一度も中風の癒しの祈りをしたことがなかったので、目をつぶってすべて主に委ねる心情で、「イエス・キリストの御名で命じる、中風病から癒されよ!」と叫びました。その人が後ろに倒れ、私の唇から「金銀はわたしにはない。ナザレイエス・キリストの御名で起きて歩けよ!」という宣言が吐き出されました。すると、一人では何もできなかった中風持ちの方が起きて、歩きだし、走ったりまでしました。私をはじめ、そこにいた人々みんなが驚きました。

この光景を生き生きと見ていた 400 人の人々がみんな自分も祈ってもらいたいと駆け集まってきました。その場には公安がいたのにも関わらず、何も起こりませんでした。中国で多くのことを経験してきましたが、不思議なことに、集会に公安がいると必ず悪霊が暴れます。そして、悪霊が去っていく様子に公安が驚いて帰ることがほとんどでした。聖霊様の強力な働きがあったためです。

悪霊が追い出され、病人が癒される

神様は神の御国を人に見せるため、その印が人の目で分かるように様々な奇跡を行なわれました。中風の人起きて、盲人の目を開いて、足のきかない人が立つなど主の御業をたくさん見えました。

ある日、死にかかっている子供を連れてきたある親がいました。この集会を最後とし、ここでも子供が癒されなかったら、そのまま子供を捨てて帰ろうとした親でした。ところが、祈った瞬間、死にかけていた子供が息をし、生きる癒しの御業が施されました。そして、口のきけない女の子を連れてきた親もいましたが、私は聖書に書かれている通りその少女へ「エパタ（開けよという意味）」と叫んだら、言葉の話せなかった子供が口を開け話す御業が起こることもありました。

これらの癒しの働きの話が家庭教会のネットワークを通して瞬時に広がり、3ヶ月間何も起こらなかった宣教の働きが突然あちこちら開き始めました。瞬く間にチベットのウルムチというところまで宣教の範囲が広がって、私は引き続き中国全土を回りながら、御言葉を宣べ伝えました。癒しの奇跡が起こり、マタイによる福音書9章33～35節の御言葉のように、悪霊が追い出される主の御業を経験しました。聖書に書かれている通り、イエスがなさった働きがそのまま起こったのです。

「神の御国の現場となりますように」

中国は町と町の間が500kmに達するため、長時間移動しないといけないのが大変ですが、私は2181個のすべての町を回ると目標を決めました。全部回るにはまだまだですが、3分の2は回ったので、中国全土をくまなく回ることができています。

私は絶対一つの町に三日以上は留まりません。公安を避ける目

的もありますが、福音を聞き、病人が癒され、悪霊が追い出されることを目撃した後は数多くの人波に押しつぶされ、私が祈り中に死ぬのではないかと思ったからです。主の働きを行いながら、彼らより私の方が驚く時が多くありました。なぜならば、奇跡の働きは私がしたのではなく、全て主の主権であって、聖霊様の働きだったためです。

600人程集まった集会の時でした。中国は天安門事件以来、絶対に大規模の集会は許可しません。そのため、発覚しないように集会を慎重に行わないといけませんでした。ところが、前から2列目のおばあさんが泣き叫びながら祈る姿が見えてきました。講壇からも首の血管が見えるほど切に祈るおばあさんを見て、私も熱く説教を述べました。

祈りの時間になると、人々は自分の病気が治るまで並んで祈りを受けます。祈りを受けた人がまた並ぶので、祈りを始めることが恐ろしいくらい祈りが続きました。そのため、祈りが止まらなくて、集会最後の日には逃げるように終わらせて帰ることも頻繁にありました。

午前の集会を終えて、昼食のために出る時でした。私の隣に近づいてきたあるおばさんの体が宙に浮かびました。「これはどういうことだ？」と疑問を持ったのもしばらく、急におばさんの口からは水が吐き出されました。私の服にまで付くぐらい、クラゲのような真っ青な物が信じられないほど出てきました。この様子を見た多くの人から癒しの祈りの要請が殺到しました。

御言葉を伝えながら、「ここが神の御国の現場となりますように」と熱心に祈りました。すると、御言葉を宣言する時、按手の祈りをしなくても沢山の人が悔い改めて、癒されて、悪霊が去っていく御業が起こりました。† <次号に続く>



「私たちはなぜ礼拝しなければならないのか」——燔祭

長い間、当然のこととして行われてきた礼拝。ところが、「私たちはなぜ礼拝をするのか」という根本的かつ直接的な疑問について、これほど集中的に質問を受けたのは教会史では初めてのもののように思えます。実際、あまりにも当たり前のことだったので誰も質問することはありませんでした。この疑問について、クリスチャンである私たちが先ず答えを明らかにしなければならない時代に来ています。それは、レビ記に見つけることができます。

出エジプト記は、荒野で幕屋を完成する話で終わります。幕屋は、キリストの御体を象徴していますが、それはすなわち、教会を意味します。幕屋が完成された後、「そして彼は呼んだ（ヴァイクラー ויקרא）」従ってレビ記は教会に人々を呼び集める神の御声です。ただ一度の呼び声ではありません。この御声は、神の切なる礼拝への召命でした。

主はモーセを呼び、会見の幕屋からこれに告げて言われた、「イスラエルの人々に言いなさい、『あなたがたのうちだれでも家畜の供え物を主にささげるときは、牛または羊を供え物としてささげなければならない。』（レビ記 1:1～2）

これは、特定の祭司たちに与えられた生贄の規定ではありません。神の民なら「誰でも」礼拝すべきだという、神の召命でした。ところがなぜ、「牛や羊」をほふって捧げる礼拝が必要なのでしょう？ 主なる神は、伝承童話の龍のように村の家畜を餌食として捧げなければ、激しい怒りの火を噴き出すような方ではありません。神は、雄牛の肉と血を飲食される方でもないのです。（詩篇 50:13）

初めてレビ記に接すると、ただ一般的な古代祭儀に対する物語として片付けてしまいがちですが、レビ記で雄牛を捧げる燔祭は、根本的に他の古代宗教の祭事とは全く異なります。一般的に、古代祭儀における獣のいけにえが病や戦争、干ばつの災難から免れさせてくださいという念願の訴えであったならば、レビ記における神の最初の呼び声である『燔祭』は、このような災いから免れるとか、願いを叶える目的で捧げるのではなく、神が人々との親しい関係を渴望する、神からの贈り物だったのです。

レビ記 1 章 2 節の『あなたがたのうちだれでも家畜の供え物を主にささげるときは…』の部分からは、私たちが神とどのような関係にあるかが分かります。ここでの「供え物」は「コルバン」と言いますが、本来の意味は「近づく」です。ここで初めて、なぜ礼拝が必要なのか、その理由が語られます。私たちが礼拝を捧げる理由は、神に近づくためです。神の権能と御手の助けを求める前に、私たちに必要なものは神との親密な関係です。神に近づく

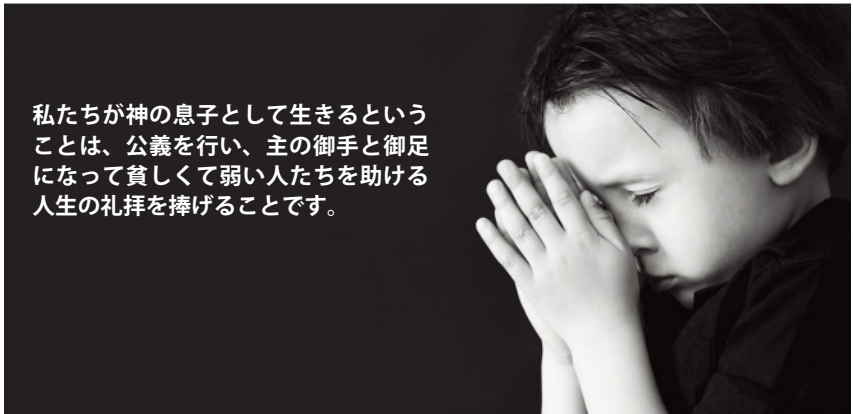
くことができる関係の回復が礼拝を通してなされるのです。

ところでなぜ、牛の燔祭を捧げるのでしょうか。燔祭は神に捧げる一種の贈り物です。神が好まれるため、これを捧げれば神の前にもう一步、進み出ることができるのです。神は牛肉を好まれ、よく食される方でもないのに、なぜ、牛の燔祭を喜ばれるのでしょうか。燔祭は「オーラー(עֹלָה)」と言いますが、文字通り「上る、登る」という意味です。牛一頭を完全に焼き尽くしたときに上る、その煙を神はお受けになるのです。牛は古代社会におけるすべての価値の尺度でした。しかし、その価値の形質が変わる時点に礼拝があるのです。これを供えて礼拝を捧げるということは、どれほど大きな覚悟と決断が必要だったのでしょうか。

すべてを捧げる礼拝

「牛を売ったお金を盗み、ソウルに上京して商売を始めた」という韓国の産業化の神話には、以前の農耕社会の価値である牛の形質が産業化の価値に転換された、という象徴的な意味があります。金の子牛の神像を礼拝したイスラエルの民が、その繁栄主義から抜け出して神との関係、それ自体を最大の価値と考える世界観への転換が起るのは、礼拝からです。私たちが神にすべてを捧げる時、真の礼拝が回復されます。燔祭は、一部を取って捧げる礼拝ではなく、すべてを捧げる礼拝でした。

また、燔祭の供え物は「傷のない雄牛」を捧げなければなりません。これは「完全な息子になる」という意味です。「雄牛」を意味するヘブル語は「ジャカル(כֶּבֶד)」ですが、「記憶する、記念する、息子になる」という意味です。イエス様は最後の過越の食卓で、「これは、あなたがたのために与えるわたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい」(ルカ 22:19) とされました。イエス様が私たちにその血と肉をお与え



私たちが神の息子として生きるということは、公義を行い、主の御手と御足になって貧しくて弱い人たちを助ける人生の礼拝を捧げることです。

になったのは、私たちが神の息子(雄)」になるためです。これは、「このように行いなさい」という御言葉と結び付きます。

私たちが神の息子として生きるということは、公義を行い、主の御手と御足になって貧しくて弱い人たちを助ける人生の礼拝を捧げることです。私たちは神の息子にならなければなりません。これが『記念と雄牛』の意味です。以前に教会の礼拝堂で捧げていた礼拝は、もはや私たちの家庭と生活の場に移されました。これから私たちが捧げるべき礼拝は、「神に受け入れ喜ばれることを行う」ことです。(ローマ 12:2)

羊と山羊の燔祭は、「力」と「権威」を捧げることを意味します。羊は支配権を意味し、山羊は「強さ」という意味を持っています。

「山羊は力が強い。しかし、山羊は今朝死んだ。もううちの家には力の強いものは存在しない」——キム・スンオクの短編<山羊は力が強い>

礼拝は主権の放棄と委譲です。私が持っている支配権を神に捧げることです。それは小説の内容のように、不可抗力的な力の支配から抜け出す自由を得ることです。こうしてようやく、私たち

は神を『主』と呼べるのです。

最後に、「鳥の燔祭」は貧しい民の供え物としてのみ知られています。山鳩は「継承」を意味します。嗣業の継承は、最も重要な使命として渴望しなければなりません。アブラハムの神が、イサクの神が、自分の神になるよう努めなければならないのです。韓国教会の前世代が成し遂げた信仰の嗣業を受け継ぐこと、これが私たちの捧げるべき礼拝です。父親が信じる神が自分の神になるのは、個人主義という罠に陥ったこの世代を救い出す命綱になるでしょう。

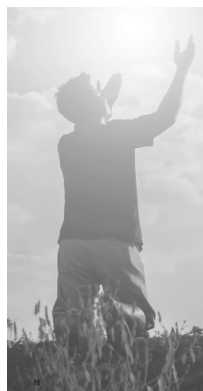
「家鳩」はヘブル語で「ヨナ (הֲנוּי)」と言いますが、これは「情熱的で嫉妬する愛」を意味します。鳩が一生を一つのパートナーと連れ添うのは、熱い愛の情熱のためです。神以外に他のものをすべて取り除く愛を「嫉妬する愛」と言います。

「祭司アロンの子なるエレアザルの子ピネハスは自分のことのように、わたしの憤激をイスラエルの人々のうちに表わし、わたしの怒りをそのうちから取り去ったので、わたしは憤激して、イスラエルの人々を滅ぼすことをしなかった。」(民数記 25:11)

ただ神のための熱い愛の情熱が回復されること、これがすなわち、鳥の生贄です。このように私たちは、神を熱く愛し、近づくために礼拝をするのです。私たちが礼拝するのは、この地で神の息子として生きていくことです。燔祭は、私たちの以前の形質から神の喜ばれる「芳ばしい香り」に変わることです。これが礼拝です。

私たちの礼拝は単なる宗教活動ではありません。それは、私たちの人生の価値を変え、そうしてこの世を神の国に変える力です。これが、私たちが礼拝する理由です。これからも礼拝して行きましょう。†

✧ 狭き門、狭き道



カン・サン 牧師／十字架教会＜御言葉の前に立つあなたに＞著者

神様と本当に出会う時期

昔からずっと忘れることができない友人がいます。

夜間神学校で初めて会ったその友人は、私と同じように子供の頃の痛みを持っていました。

私たちは、父との悲しい別れにより孤児のように育ち、多くの親戚や人々から傷つけられました。その中で、避けることができなかった貧困、空腹を克服するための数多くのアルバイト、苦勞をしながら体も心も大変つらかった経験を共有していました。

一つの小節を歌い始めると、その次の小節を続けて歌えるように、私が暮らしてきた話をすると、友人はその場所にいたかのように自然にその続きを話していくことができました。私たちが共有している痛みの共通部分として、母の存在はかなり大きなものでした。しかし、その友人は私と違うものを持っていました。それは、頭がとても良かったり、特別な才能を持っていたりということではなく、いつも肯定的で、積極的でした。いつも私が苦しんでいる時期に「できないね。難しいね。」という言葉はかけず、手段と方法を選ばずに、最善を尽くして助けてくれました。

低き所へ

初めて教室を作り、壁にペンキを塗ろうとした時、ペイント用の刷毛がないと言ったら、友人は大胆に腕をまくって、両手で壁にペンキを塗ってくれました。宣教学科で初めて英語礼拝をする

時にも、色々な所から英語の賛美歌を借りコピーしてくれました。また、英語で説教する教師がみつからずに困っていると、どこかである教師を招いて私たちの礼拝を輝かせてくれました。

その友人はいつも忙しく、大変な生活を過ごしながらも、「お金と時間はいつでもあるから」と言いながら笑顔を失うことはありませんでした。私にとってその友人は、足りないところだらけの私の人生を助けてくれる、神が送ってくださった天使ではないかと何度も思いました。軍隊に入り大学を卒業後、私は大学院に入学し、牧師への道を準備しました。その友人は、事業を始めました。

友人の事業は、最初のいくつかのものは簡単ではありませんでしたが、積極的でチャレンジングな友人の姿勢により、最終的には大きな成功につながりました。大きなビルを建てて会社を興し、高級車も所有していました。たまに会いに行くと、本当に美味しいランチをご馳走し、小遣いまでくれたりしました。

「友人が土地を買えばお腹が痛い」という言葉がありますが、私は心からその友人の成功を祝福し、まるで私が成功したように幸せでした。私は一日も忘れず、友人のために祈りました。まるで、ヨブが彼の子供たちのために礼拝をするように、私はその友人のために日々祈りました。(ヨブ1:5)

その頃、私は神から与えられた感動により、十字架教会を開拓する準備をしており、自然とその友人に電話をかけました。その友人はとても忙しかったのですが、私の電話を温かく受け、教会開拓を祝ってくれました。そして、「サン君、どうせ始める開拓教会、素敵な建物で素晴らしく始めてほしい。必要なお金は、私が送るから！」友人は私にとって大変な大金を約束してくれました。私は密かにその友人を神様よりも頼るようになりました。そのような大きなお金があれば、条件のよい地域にきれいな建物、美しいインテリアを施した教会ができると思っていました。

しかし、これまで数多くの事を助けてくれたその友人は、最も重要で決定的な瞬間に私を助けることができませんでした。友人は事業に失敗、急に倒産してしまいました。借金を返済できず、すべてのものが債権者に移ってしまったのです。

いくら電話しても連絡を取れなくなり調べてみると、友人はすでに刑務所に入っていました。私は仕方なく、銀行で融資を受け、高い利子を払いながら、つらい状況で開拓教会を始めました。エレベーターもなく、汚く、古い商店街の中の建物で、冷暖房もなく、椅子もなく、音響のアンプもない、開拓教会はそのような小さな空間でした。

率直に言って、私は長い間、その友人のことを覚えていました。難しい時期を過ごすたびに、その友人のことを思い出しました。家賃を払えないとき、ご飯が食べられないとき、教会の椅子がないとき、訪ねてきた新しい聖徒がここには椅子もなくこれから通うことができないと言い教会を去るとき、大変難しいとき、私はその友人を思いながら、残念な気持ちと寂しさに夜通し苛まれる日々を数多く過ごしました。

しかし、今、教会を開拓して15年が過ぎてみると、その時、その友人のお金で素晴らしい建物を建てて、大きな教会を始めたとしたら、多くの人々が集まる教会の指導者になったかもしれませんが、御言葉と祈りに集中した本当の牧師になることは難しかったと思います。成功した牧師が持つ穏やかな笑顔はいつでも持つことができるかもしれませんが、十字架の上で切に祈られたイエスの涙を見つめることはできなかったかもしれません。その理由は、神様はお金、名誉や成功等が保証してくれる高いところにおらず、貧しさ、無視と失敗が重なっている低いところで、いつも私に出会ってくださったからです。

寂しく、大変な時期における有益

弟を殺したカインも自分の態度を変え、自分自身を弱いものとして遜（へりくだ）る時に、神様は生きる道を開いてくださり（創世記 4 章）、また、兄をだまして成功を夢見ていたヤコブもヤボク川で砕かれた時に、神様は新しい名前を与えてくださいました（創世記 32 章）。ひどい罪を犯してしまったダビデは断食し涙を流す時に、神様は彼を許してくださり（サムエル下 12 章）、魚を取っていたペテロも「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者です」と言ったとき、イエス様は彼を弟子として呼んでくださいました（ルカ 5 章）。

誰でも同じです。健康を失って弱まる時は、私たちが真の強さのある人にしてくださる神様に会います。収入が減り、貧しいときは、私たちが感謝を捧げるようにしてくださる神様に会います。騒ぎながら笑っていたときには絶対に聞こえなかったその音声が、寂しく孤独なときには聞こえるようになり、明るく楽しく何でもできていたときは目に見えなかった主の姿は、何も見ず、聞こえない暗い場所の一筋の光のように、私たちの前に現れるのです。

今日は旧正月の連休の一日ですが、教会におります。町は静かで、昼間開いている飲食店もなく、食事も適当に済ませました。何だか他の人たちが休日で休んでいる中、私一人だけが働いているように感じ、少し悔しく思いました。

ところがその時、教会に電話がきました。大変難しい状況にいる聖徒さんからの電話でした。しばらくお話をきき、その方のために祈りました。すると、その聖徒さんから、「旧正月なのに教会で、自分のために、こんなにも長い時間をかけて話を聞いてくれたこと、あまりにも申し訳なく、また感謝の気持ちで一杯だ」との言葉を聞きました。その瞬間、私は再び、はっきりと悟りました。「私たちが主と出会う、本当の時が何時なのか」と。†



イエス院第四の川 (The Fourth River) プロジェクト 統一時代を開く

ベン・トレイ __イエス院理事長・サンスリョンセンター本部長



偽預言者

ここ数カ月にわたり、私たちは多くの不確実性の中から真実を見分けることの重要性について学んでいます。預言とその真偽の見分け方について分かち合いました。前回は「預言の目的」に焦点を合わせました。結果から、預言が本物なのか偽物か峻別することを見てきました。

聖書でも、真の預言が預言者の語ったとおりに常に成就するわけではありません。神が望まれていても、保証のない結果のために祈らせる目的で導かれる可能性も高いことも学びました。事実、結果は神の意図と私たちの執り成しの祈り、そして各個人の選択によって変わりました。

こういう時期には、その人の人柄や語る内容により、信奉者が増えていくことがあります。それは政治的、あるいは宗教的な人物かもしれません。一部は合法的で、一部は偽りの可能性があります。今回は、聖書は偽預言者について何を教えているかを学びたいと思います。ある者が自分に従うように求めるとき、彼が神の道に導いているか峻別することはとても重要です。



峻別する方法

多くの人が偽預言者か否か峻別するために用いる聖句は、申命記 18 章 21 ～ 22 節です。

「あなたは心のうちに『われわれは、その言葉が主の言われたものでないと、どうして知り得ようか』と言うであろう。もし預言者があって、主の名によって語っても、その言葉が成就せず、またその事が起らない時は、それは主が語られた言葉ではなく、その預言者がほしいままに語ったのである。その預言者を恐れるに及ばない。」

この御言葉は、非常に単純のように思われます。もし預言が成就するなら、その預言者は主の御名によって語ったものであり、そうでなければ彼は真の預言者ではありません。彼は偽預言者です。これによって、預言が成就しなかった人は、偽預言者として烙印を押されてしまいます。しかし、私たちが考えてみる本文がもう少しあります。

まず、御言葉が成就したとしても、それが神から来たものでないかもしれないという明確な御言葉が二箇所あります。

「あなたがたのうちに預言者または夢みる者が起って、しるし

や奇跡を示し、あなたに告げるそのしるしや奇跡が実現して、あなたがこれまで知らなかった『ほかの神々に、われわれは従い仕えよう』と言っても、あなたはその預言者または夢みる者の言葉に聞き従ってはならない。あなたがたの神、主はあなたがたが心をつくし、精神をつくして、あなたがたの神、主を愛するか、どうかを知ろうと、このようにあなたがたを試みられるからである。あなたがたの神、主に従って歩み、彼を恐れ、その戒めを守り、その言葉に聞き従い、彼に仕え、彼につき従わなければならない。その預言者または夢みる者を殺さなければならない。あなたがたをエジプトの国から導き出し、奴隷の家からあがなわれたあなたがたの神、主にあなたがたをそむかせ、あなたの神、主が歩めと命じられた道を離れさせようとして語るゆえである。こうしてあなたがたのうちから悪を除き去らなければならない。」（申命記 13:1 ～ 5）

「にせキリストたちや、にせ預言者たちが起って、大いなるしるしと奇跡とを行い、できれば、選民をも惑わそうとするであろう。」（マタイ 24:24）

上記の二つの聖句は明白な結果、預言が成就し、奇跡が起こるとしても、その御言葉が主から来たという十分な条件にはならないことを示しています。それはサタンの惑わしかもしれません。より大切なことは、その預言者の動機です。そして、その預言者の預言が他の人を動かし、何かをさせるものです。私たちはこれを申命記 13 章 1 節で見ることができます。その前に申命記 18 章 20 節を見てみましょう。

「ただし預言者が、わたしが語れと命じないことを、わたしの名によってほしいままに語り、あるいは他の神々の名によって語るならば、その預言者は殺さなければならない。」

神の預言者

この申命記の二箇所は、神とその方の律法に真実でありなさいという、多くの命令の中の一つです。イスラエル全体の共同体のため、主なる神に対する信仰、信頼、あるいは従順において、人々を離れさせようとする試みは容赦なく取り除かなければなりませんでした。そのように刑罰が厳しい理由は、こういう性質のものは、すべて神の国における民にとって深刻な脅威になるからです。

数世紀にわたってイスラエルの歴史、すなわちイエス・キリスト教会の歴史は、こうした危険がいかに実体的であることを示しています。神の民が真理から離れ、そのように魅力的に見える者たちにつき従うようになるからです。パウロがテモテに送った第二の手紙で以下のように語っています。

「人々が健全な教に耐えられなくなり、耳ざわりのよい話をしてもらおうとして、自分勝手な好みにまかせて教師たちを寄せ集め、そして、真理からは耳をそむけて、作り話の方にそれていく時が来るであろう。」(第二テモテ 4:3～4)

エレミヤは偽預言者たちに対抗する神の御言葉を伝える真の神の預言者でした。

「わたしはサマリヤの預言者のうちに不快な事のあるのを見た。彼らはバアルによって預言し、わが民イスラエルを惑わした。しかしエルサレムの預言者のうちには、恐ろしい事のあるのを見た。彼らは姦淫を行い、偽りに歩み、悪人の手を強くし、人をその悪から離れさせない。彼らはみなわたしにはソドムのようにであり、その民はゴモラのようなのである。」(エレミヤ 23:13～14)

ここで偽預言者は、確かに他の神々の名によって預言する人たち、バアルの名によって語るサマリヤの預言者たちをも含まれます。しかし、主なる神の御名によって預言するけれども、偽り者もいます。その偽りとは、彼らのメッセージではなく、個人的な

腐敗や悪事を行なう人たちを助けることとして現われます。

エレミヤ 28 章には、エレミヤが偽預言者ハナニヤと闘う場面が出てきます。二人ともよく知られており、尊敬される預言者でしたが、メッセージは正反対でした。預言者エレミヤは、イスラエルの指導者と国民に悔い改めることを宣言します。預言者ハナニヤは、悔い改めなくても神が救ってくださるであろうと言いました。しかし主は、ハナニヤを打たれました。(エレミヤ 28:17 参照)

どの預言者が本物か偽物かは、彼のメッセージ、意図及び自身の生き方の証にかかっていることが分かります。偽預言者はどのような方法であれ、神の民を誤った道へ導き、誘導しようと試みる人です。

峻別の過程に必要な四つの質問について述べたことがあります。イエス・キリストに栄光を帰しているか、聖書の御言葉と一致しているか、他の成熟した聖霊充滿な聖徒たちに確認したか、そして、その結果が何かです。今見ている脈絡から重要なのは、二つ目の質問です。宗教的であれ、政治的であれ、力ある指導者が語る強力なメッセージが神の与えられた聖書の御言葉と一致しているか、常に調べてみる必要があります。私たちがしばしば誤った道に追いつくことを防ぐのは、神の御言葉を見ることです。

神の御言葉を宣言しましたが、心が正直になれず、墮落した生き方によって裏切った人たちもいました。彼らは偽預言者だったのです。

「わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者が、みな天国にはいるのではなく、ただ、天にいますわが父の御旨を行う者だけが、はいるのである。その日には、多くの者が、わたしにむかって『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名によって預言したではありませんか。また、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名



によって多くの力あるわざを行ったではありませんか』と言うであろう。そのとき、わたしは彼らにはっきり、こう言おう、『あなたがたを全く知らない。不法を働く者どもよ、行ってしまえ。』」(マタイ 7:21 ~ 23)

そうです。四番目の質問の結果をみていくことは重要ですが、単純な方法で評価してはいけません。以前に述べたように、預言は人々が悔い改め、神の御心を行ない、正しいことのために危険を甘受し、神の方法に従って準備するため、予想された結果を認知するようにするものです。ですから、予測はそう多くありませんし、決して運勢でもありません。

時には初期の結果に驚くこともあります、時には混乱に陥る場合もあります。より大きくて長期的な結果を見ることが重要です。だからこう問いかけてみる必要があります。預言を語る人が人々を神の御心を行うように導いていますか？ 神が栄光をお受けになっていますか？

今日のように大変な時期に、絶えず前進しつつ周囲から聞こえる声を峻別し、美しくて自分のことを強く語る人より、私たちに導いておられる神を信頼しましょう。(第一コリント 13:1 ~ 2 参照) †

✳ ドタバタ子育ての話

イ・ビョンジュン 牧師／ラランリボン カウンセリング & コーチング代表 心理相談学博士



自殺を誘発する無気力

韓国は精神的な貧困国です。経済的貧困の問題はすでに解決され、福祉水準は年々向上しています。個人経済と教育水準が先進国に追いついたにもかかわらず、OECD 国家内で韓国の自殺率が1位となるなど、精神疾患に苦しむ国となりました。確かに他の先進国でも、福祉と人権が尊重されるほど、高くなる自殺率に悩まされています。

逆の相関関係について、その原因は何なのか明確にわかっていません。ただ、高まる自殺率の背景には「無気力」という感情が奥深く潜んでいます。無気力が「無価値感」「無意味感」「無能感」

を生み出しています。高齢者の自殺にも、青少年の自殺にも、その背景には深い無気力があります。キラキラした目、好奇心に満ちた表情、あることに夢中になる情熱、気概や志などが、随分前に子どもたちから消えました。「やりたくないことは、やらなくてもいい」ということで、何も生み出さない存在、無能な存在になってしまったのです。無気力を別の言葉でいうと、無能力です。

中毒の危険性

問題の根源が無気力であるにもかかわらず、これが浮き彫りにならないのは、各種の中毒や暴力があまりにも目立ちすぎるからです。スマートフォン中毒、ゲーム中毒、インターネット中毒などが社会問題となっています。「韓国の青少年が起こす問題といっても、米国の青少年が抱える麻薬中毒やセックス中毒などと比べれば、かわいいものだ」と言う人もいますが、どのような中毒であれ、中毒は中毒です。

「中毒」の辞書的な意味は、①酒や麻薬などを継続的に服用しすぎて、それなしでは生活や活動ができない状態、②食べ物や薬物などの毒性によって身体に異常が生じて、命取りになること、③思想や物に囚われてしまい、正常に物事を判断できない状態となっています。

中毒は人生を丸ごと破壊するため、安易に見逃すことはできません。それに、中毒期間が長くなれば、事態はさらに深刻化します。一人や二人といった少人数ではなく、ほとんどの子どもたちが集団で中毒になったら、どうでしょうか。

また、いじめをはじめとする校内暴力の問題は、昨日今日の話ではありません。根本的な原因は、学校教育の不在でも、貧困でもありません。人格教育の不在から来る社会現象です。学校では

なく、家庭ですべき人格教育の不在を意味しています。また、隣近所や共同体などの小さな集団による共同規範とその価値を失ったことも原因です。

最近の子どもたちは、成長過程で触れる言葉の量が圧倒的に不足しています。そのため、私はマナー教育の際に、本来は親が子どもに教えておくべき当然の言葉だとしても、繰り返し教えています。実際に聞いたことがない子どもが多く、かつ、教育は繰り返しだからです。今すぐでなくても、臨界点に達すれば、本人の行動に影響を及ぼします。人格教育の目標は、単に礼儀正しい人を作るだけではなく、人生の意味と価値を追求する活力に満ちた人を育てることです。

子どもたちはどうして無気力に陥ったのか

まずは挫折を連続して経験したからです。これはマーティン・セリグマンの「学習された無気力理論」で、子どもが成長過程で耐え切れない大きな挫折を連続して経験すると、完全に諦めてしまい、無気力な存在になることをいいます。セリグマンが犬の実験結果を用いて、学習された無気力を説明したことから、「セリグマンの犬」と呼ばれることもあります。檻の中に閉じ込められた犬に電気ショックを与えると、最初は逃げ出そうとします。ただ、電気ショックを何度受けても逃げ出せられないことを悟った犬は、後から逃げ出せる環境に置かれても、電気ショックから逃げ出さず、電気ショックを無力に受け続けたという実験結果です。つまり、無気力は学習の結果なのです。

今の子どもたちは、勉強以外には自分の能力を立証できる手段がなく、その勉強も簡単に乗り越えられるものではありません。何度もチャレンジするも、常に壁にぶつかってきた人はどこかで

勉強をあきらめてしまいます。希望なことは、無気力が「学習」されたものであるため、学習で無気力を治療できる点です。無気力の反対語は「活力」であり、これは学習を通じて、いくらでも学ぶことができます。

そのためには、勉強以外の分野でも成功体験をたくさん積まなければいけません。運動や芸術などの分野に励むことは、とても役立ちます。昔は勉強せずに運動や芸術に時間を費やしても損になるだけといわれていましたが、最近は正反対となっています。運動や芸術も得意な子のほうが成績がよく、勉強ができる子は総じて運動も芸術も得意な傾向にあります。

無気力に陥るもうひとつの理由は、社会的環境によるものです。勝者一人勝ち、画一化、成果主義の社会的雰囲気は、子どもたちの目には越えられない壁として認識されます。そのため、最近の子どもたちが感じる未来に対する暗澹たる気持ちは、親世代が子どもの時に感じていたものよりも遥かに大きくなっています。

親世代では、「やればできる」「まさか飢え死にすることはない」「植えたらそのまま刈り取る」「蒔かぬ種は生えぬ」「努力は裏切らない」などの成功法則が通用しました。実際にその法則によって成功した人は神話の主人公となり、若者のロールモデルになりました。

ところが、今の子ども世代では、「だめなものはだめ」「植えたからといって、生えるものではない」「豆を植えたとしても、実らない土地がある」「努力しても裏切られる」という雰囲気が強く支配しています。そのためか、最近の子どもたちの夢は不動産オーナーになることだといわれています。毎月発生する家賃で生計が保障されるのはもちろん、いつでも遊びに行ける特権を享受できるからという理由です。しかし、たとえ不動産オーナーになったとしても幸せになれるのでしょうか？



さらなる理由は、成功する理由がわからないからです。私たちは成功しなければならないということだけが教え込まれ、その理由と成功後の人生については教わりませんでした。これについては、米国の企業家であり株式投資の達人ウォーレン・バフェットは「情熱は成功の鍵、成功の完成は分かち合い」と述べています。

富は分かち合うために存在するのであって、自分だけのために存在するものではありません。富を抱え込み過ぎると、快樂の奴隷になるか、無意味な沼に陥る危険性が大いにあります。生活に必要な富を形成したあとは、それ以上の富は分かち合うほうが人は幸せに生きていけます。分かち合う彼らは、人生の意味を見出し、活力に満ちています。富をとおしてできることは、はるかに大きく、その数も多いため、善良な志を持って富を持つことは、人間として意味のあることです。†

発行：純福音東京教会 文書宣教会・しなんげ出版部

【翻 訳】：趙 榮珍 執事、李カレン 執事、林 俊秀 教育生、李 珍 執事、金原英興 按手執事、
朴 宰完 按手執事、青年部翻訳チーム、金澤由紀子 勸士

【日本語校正】：垣内温子姉妹、篠崎 栄 姉妹、今村和世 執事、吉田綾子 執事、向川 誉 執事、
澤田義則 執事

【印刷・製本】：間杉典生 按手執事

【再 編 集】：金澤由紀子 勸士

【監 修】：武石哲夫 按手執事

愛する者よ。あなたのたましいがいつも恵まれていると同じく、
あなたがすべてのことに恵まれ、またすてやかであるようにと、
わたしは祈っている。(Ⅲヨハネ 1:2)

しなんげ

5

2021

純福音東京教会 文書宣教会・しなんげ出版部

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-2-19 Tel.03-3232-0067 Fax.03-3232-0729 www.fgte.jp

Full Gospel Tokyo Church